

# JAMA・JAPIA－EDI標準帳票導入事例

豊田合成株式会社  
経営企画部 IT企画室  
加藤 俊一

(社)日本自動車部品工業会 電子情報化委員会 EDI部会幹事会 帳票対応グループ委員



# 会社概要



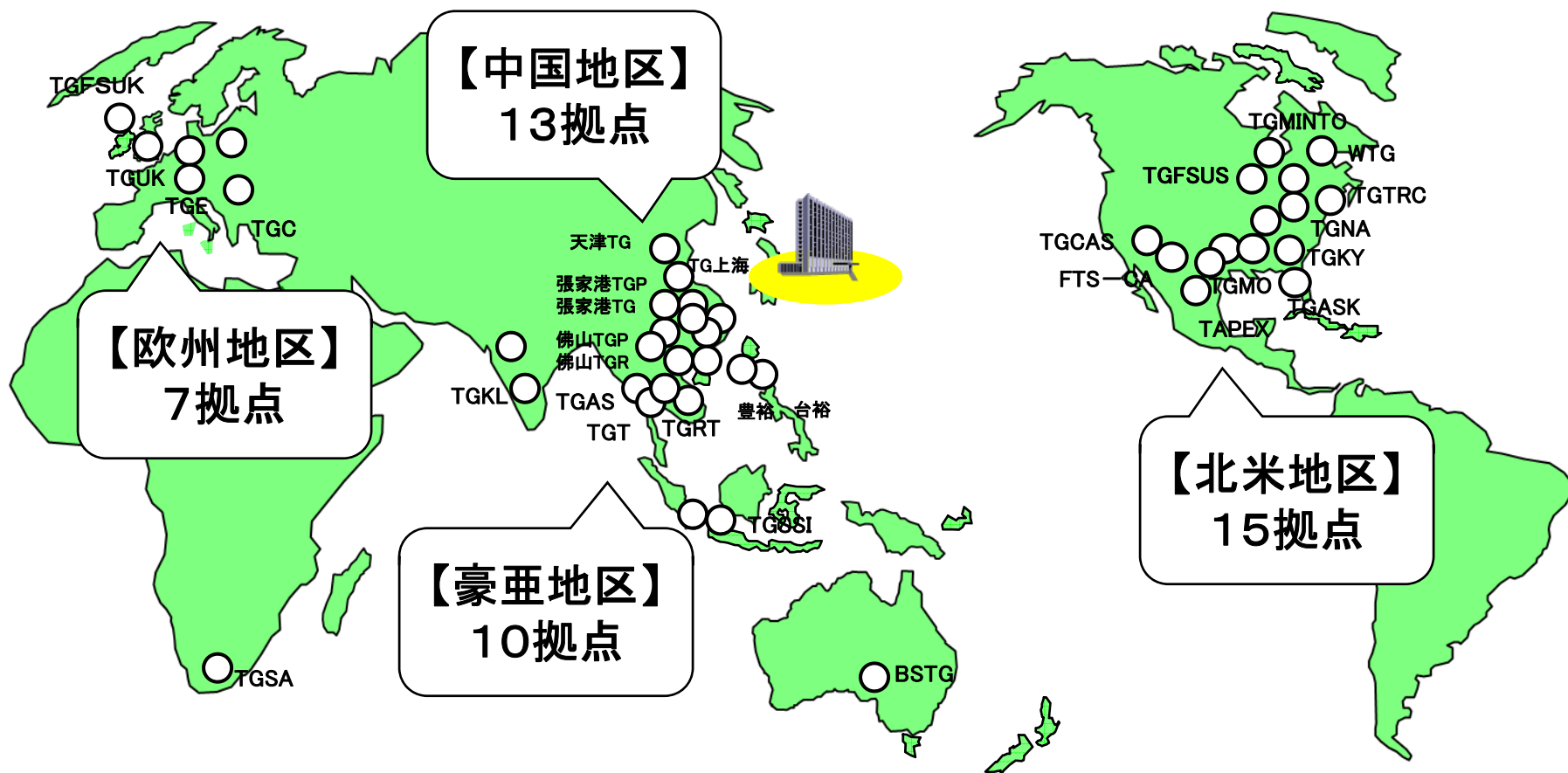
- 設立： 1949年 6月15日
- 資本金： 280億円（2007年3月末）
- 売上高： 5,934億円（2006年度連結）  
※ 単独売上高は3,563億円
- 従業員： 23,925人（2007年3月末連  
結） ※ 単独従業員は6,037人（07年3月末）
- 主要製品： ①内外装部品 【インパネ、ルーフスポイラー】  
②ボディシーリング製品 【ウェザーストリップ】  
③機能部品 【ブレーキホース、エンジンカバー】  
④セーフティシステム製品 【エアバッグ、ハンドル】  
⑤オプト製品 【LEDランプ、カラーメーター】  
⑥特機製品 【空調機、携帯筐体、介護用品】

【】内は代表製品

# 海外拠点



日本、北米、ヨーロッパ、アジア・オセアニアを4つの拠点として位置づけ、世界4極体制としてグローバルな事業展開を実施



<海外拠点：北米15 + 中国13 + 豪亜10 + 欧州7 = 計 16ヶ国 45拠点>

# 国内拠点



TOYODA GOSEI

自主開発・提案型の自動車部品専門  
メーカーとして全OEMメーカーと取引  
を行い、グローバルシステムサプライ  
ヤーを目指しています





# 部工会におけるTGの位置付け

## 自動車工業会

## 自動車部品工業会

ビジネスシステム部会 14社

EDI部会 472社

総合分科会

標準検討WG

XML WG

標準分科会

メッセージWG

帳票WG

電子タグ研究WG

EDI部会幹事会

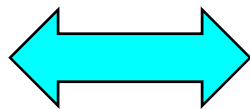
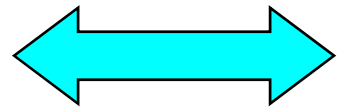
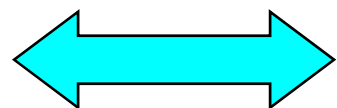
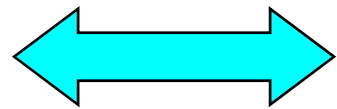
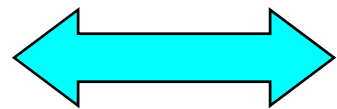
新規標準化テーマ検討対応G

XML対応G

メッセージ標準化対応G

帳票対応G

電子タグ標準検討G



TGはこのグループに所属

# EDI 導入の背景



OEMメーカーから  
 ◆納入リードタイムの短縮  
 ◆納期遵守  
 を要求されるようになった



OEMメーカーの要望に応えるには  
 TG仕入先を含めたしくみの改善と  
 システム構築が必要

## イメージ

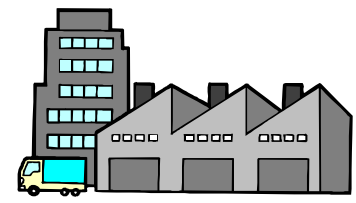
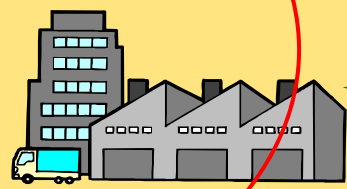
短納期発注による  
 業務のスピードアップ

購入のしくみ改善と  
 情報の電子化により  
 業務のスピードアップ

OEMメーカー

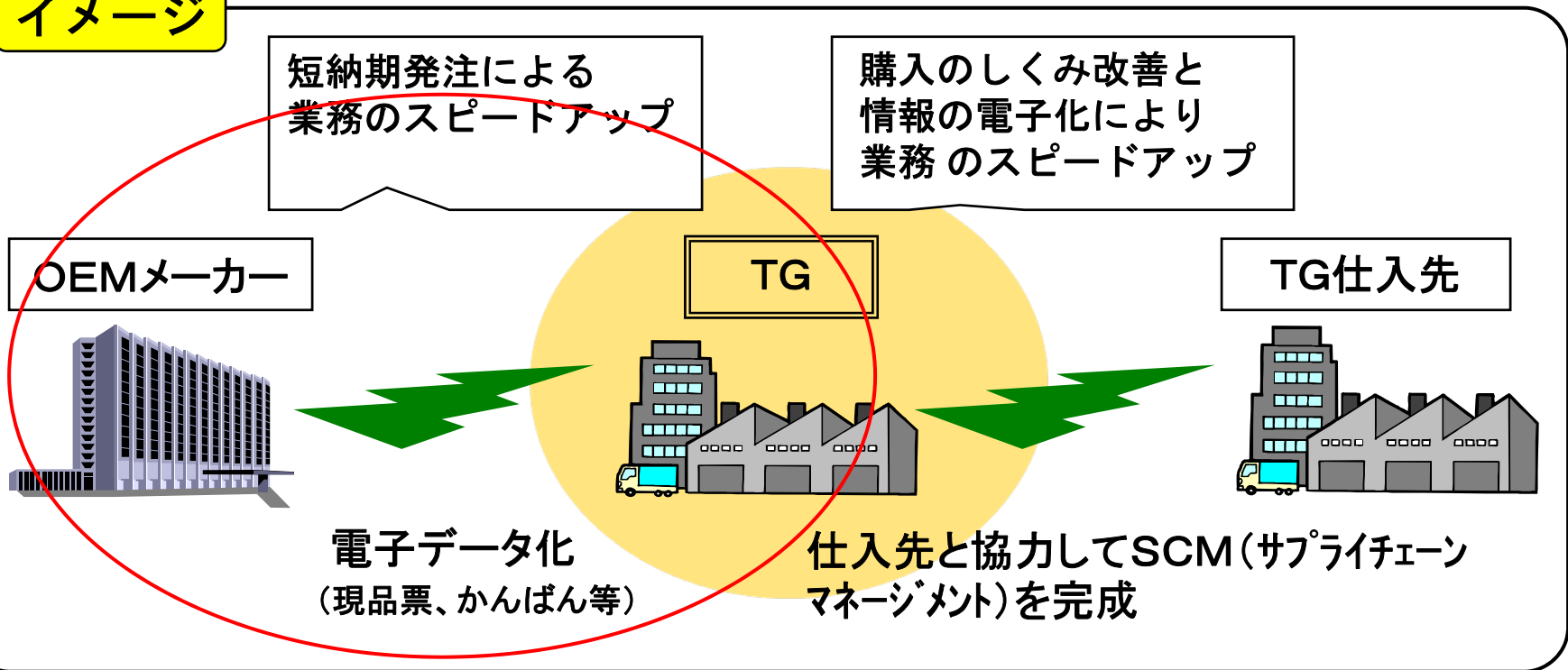
TG

TG仕入先



電子データ化  
 (現品票、かんばん等)

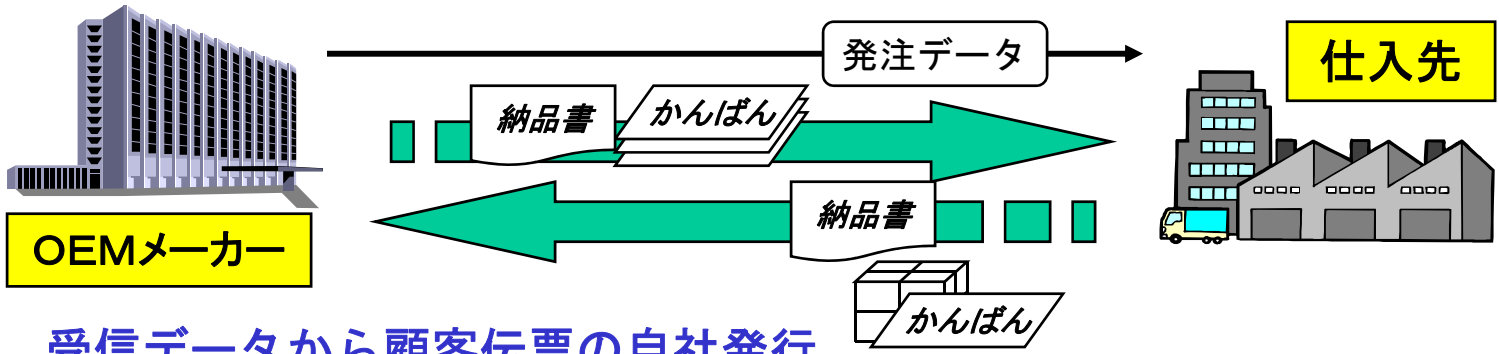
仕入先と協力してSCM(サプライチェーン  
 マネージメント)を完成



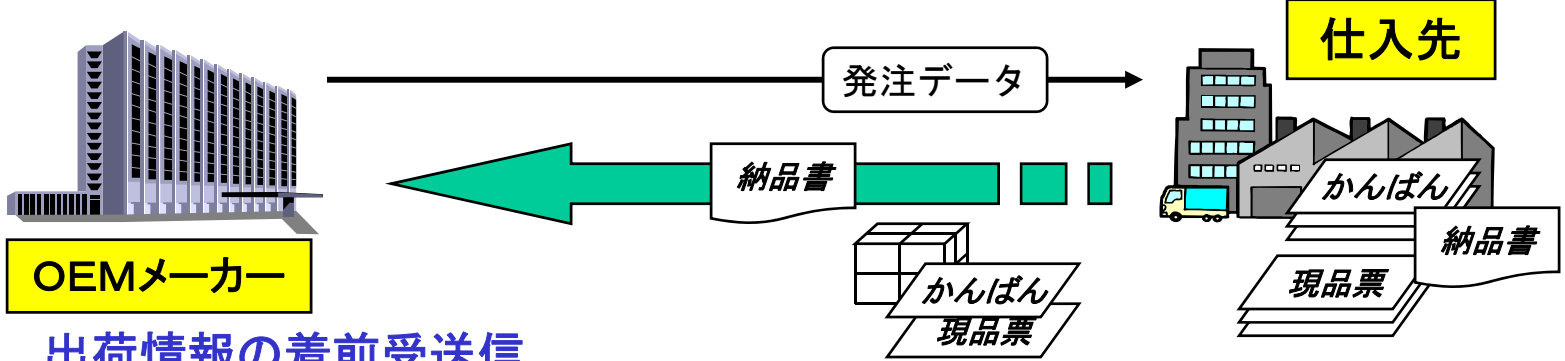
# EDIのパターン



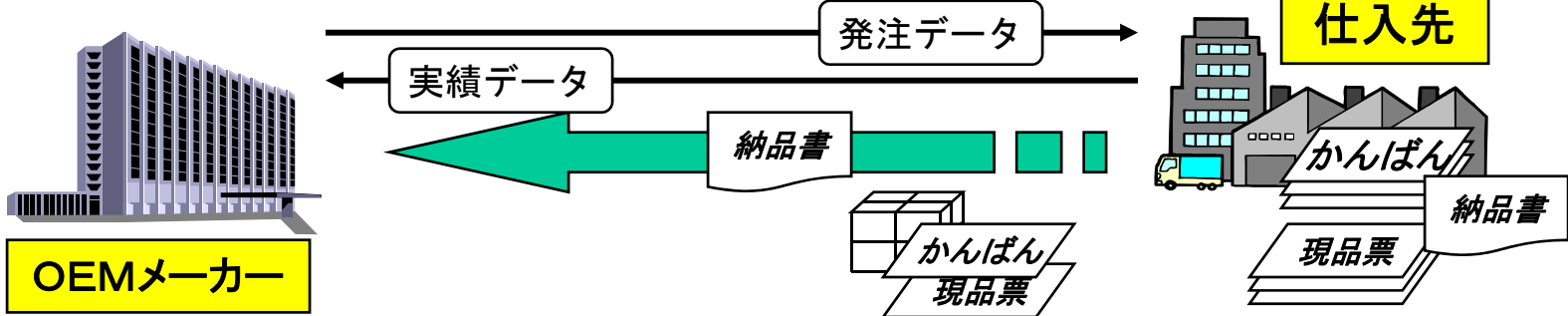
## 1. 伝票受領と共にデータ受信



## 2. 受信データから顧客伝票の自社発行



## 3. 出荷情報の着前受送信

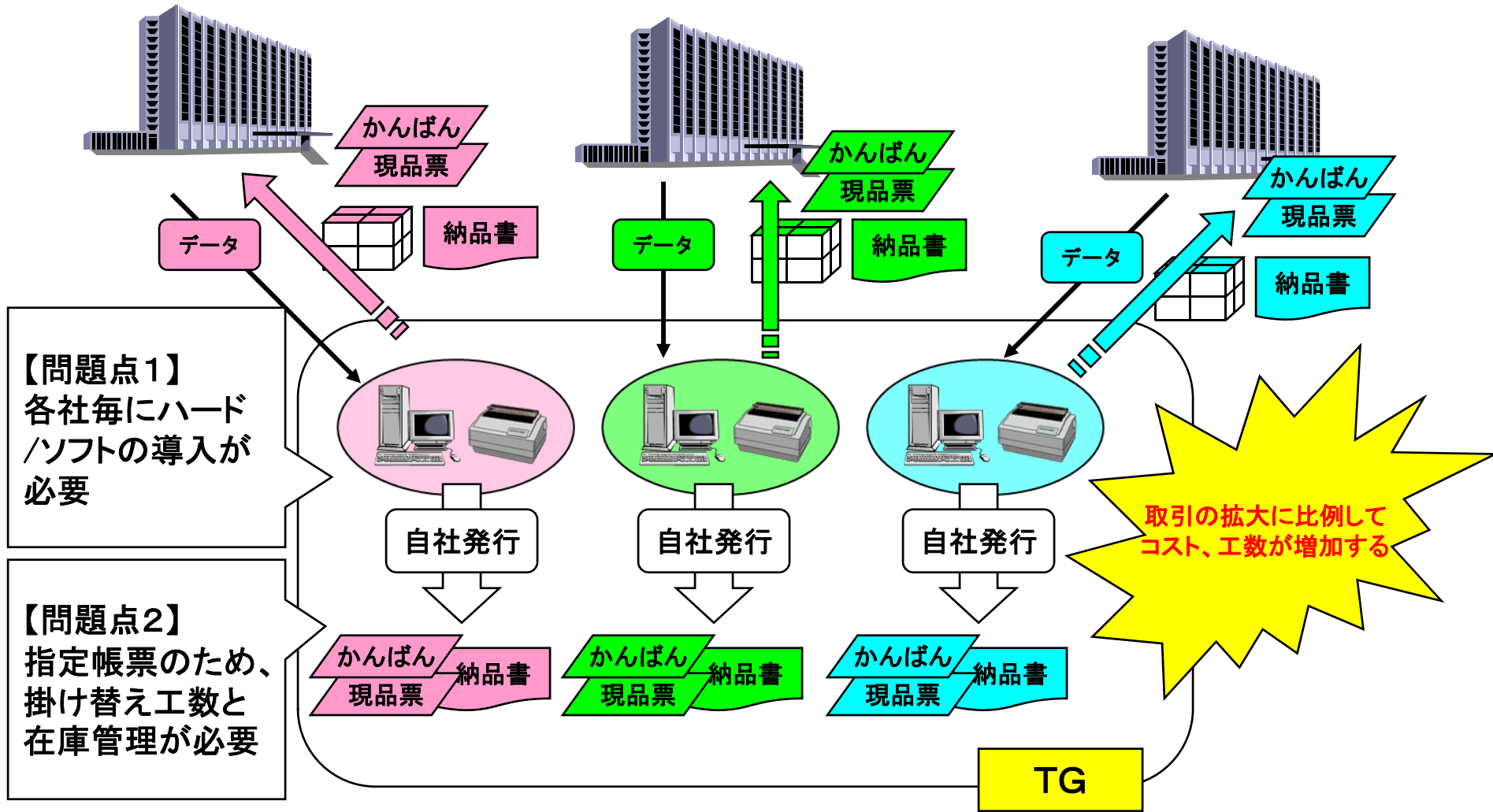


# 標準帳票導入前の状況

OEMメーカー A社

OEMメーカー B社

OEMメーカー C社

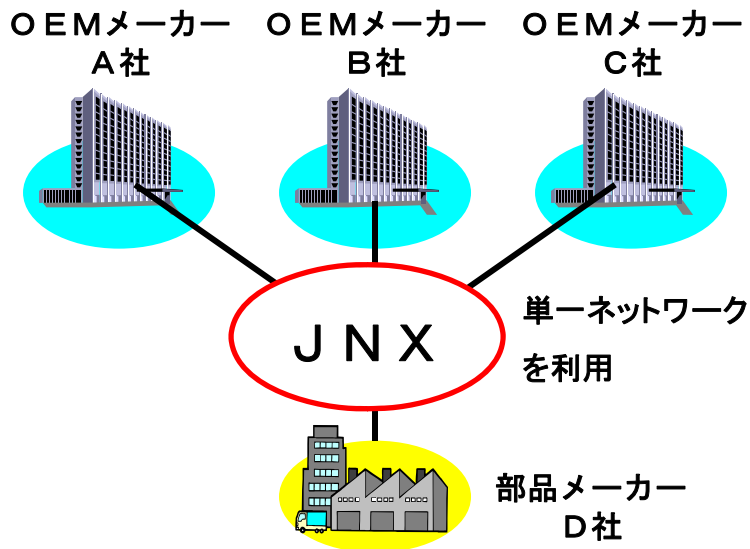




# 自動車業界における標準化の取り組み



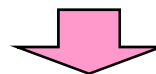
## ネットワーク環境の改善



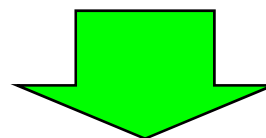
→ 従来の複雑なネットワーク管理や  
通信費のコスト増から脱却

## 標準帳票の導入

OEMメーカーの使用帳票が各社ばらばらであったため、部品メーカー（部工会）より帳票の標準化をOEMメーカー（自工会）に要請した



その結果、使用帳票のサイズや表示項目名称等については統一化が進み、標準帳票の「雛型」ができ上がった



## UN/EDIFACTの採用

自動車業界におけるEDI標準として国際標準のUN/EDIFACTが採用された

- ①ネットワーク環境の改善
- ②JAMA・JAPIA－EDI標準帳票の導入
- ③EDI標準としてUN/EDIFACTの採用

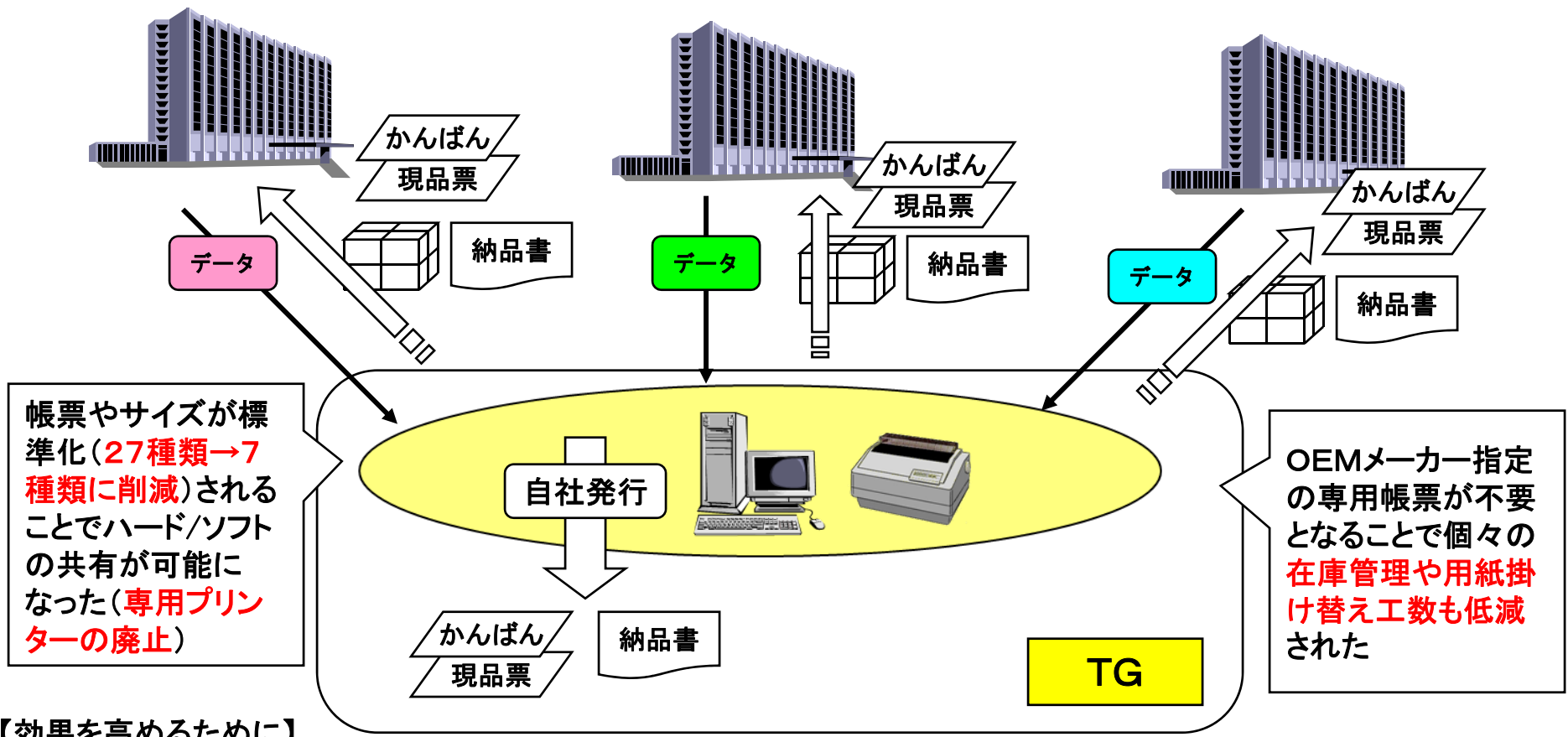
によってTGでの効果も「見える化」できてきた

# 標準帳票導入後の状況

OEMメーカー A社

OEMメーカー B社

OEMメーカー C社



帳票やサイズが標準化(27種類→7種類に削減)されることでハード/ソフトの共有が可能になった(専用プリンターの廃止)



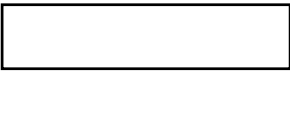







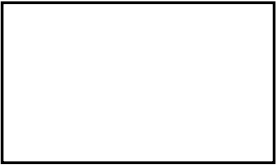

OEMメーカー指定の専用帳票が不要となることで個々の在庫管理や用紙掛け替え工数も低減された

【効果を高めるために】

- 顧客パッケージソフトに社内情報付与の申入れをした(伝票内に社内情報をバーコード形式で印字化)
- 顧客のリードタイム短縮と社内在庫低減の実施に向けて帳票統一とTG仕入先での帳票発行を推進した
- 業務の統一化を図る為、伝票発行の自社開発をした

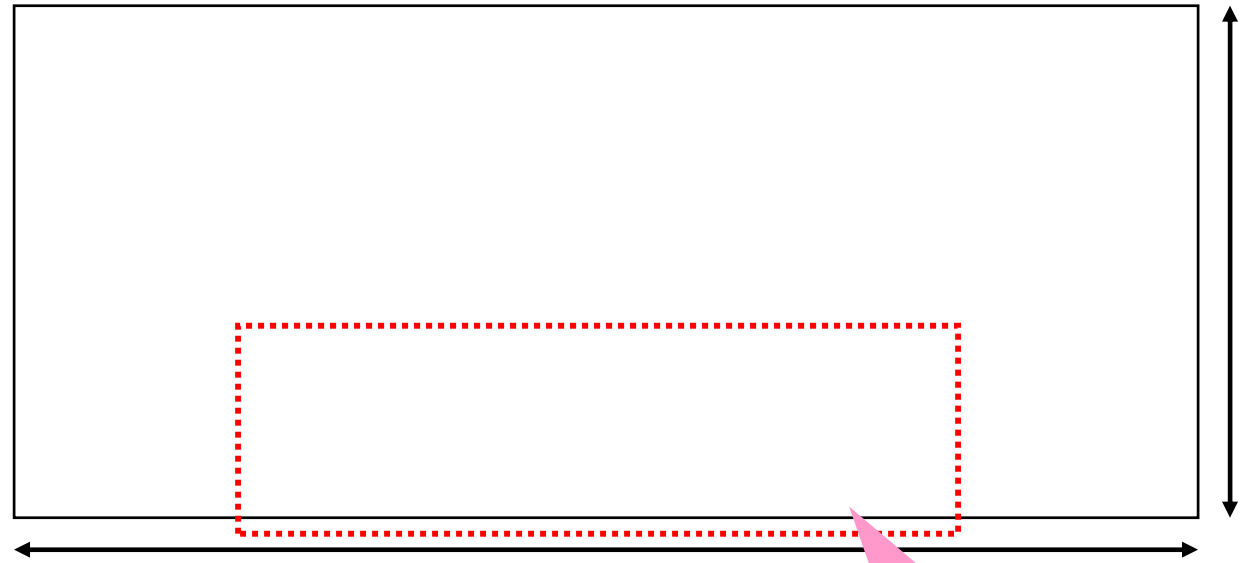
# 標準帳票への対応

帳票サイズや項目名は統一されたが、今後はレイアウトや項目の内容が標準帳票統一されていくとさらに開発、運用費用の低減、抑制が図れる

顧客		変更前		変更後 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">□</span> :TG自社情報		
A社	現品票		専用帳票 (シャトルプリンター)		ロール紙	自社開発
	納品書		専用帳票 (シャトルプリンター)		ロール紙	自社開発
B社	現品票		専用帳票 (シャトルプリンター)		ロール紙	自社開発
	納品書		専用帳票 (シャトルプリンター)		ロール紙	自社開発
C社	納品書		専用帳票 (ドットプリンター)		A4単票	パッケージ
D社	納品書		専用帳票 (ドットプリンター)		A4単票	自社開発



【かんばん】

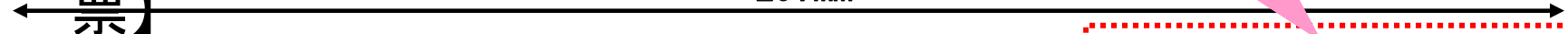


200mm

85mm

社内情報エリア  
(部品メーカーエリア)

【現品  
票】



297mm

品番、部番、部品コード

納期、  
納入日

ロット、  
一箱収容数



70mm

# EDI 導入の背景



OEMメーカーから  
 ◆納入リードタイムの短縮  
 ◆納期遵守  
 を要求されるようになった



OEMメーカーの要望に応えるには  
 TG仕入先を含めたしくみの改善と  
 システム構築が必要

**イメージ**

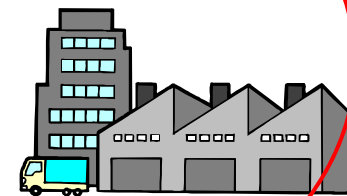
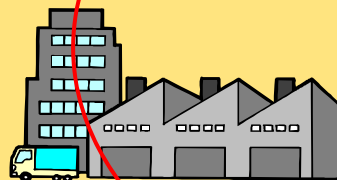
短納期発注による  
 業務のスピードアップ

購入のしくみ改善と  
 情報の電子化により  
 業務のスピードアップ

OEMメーカー

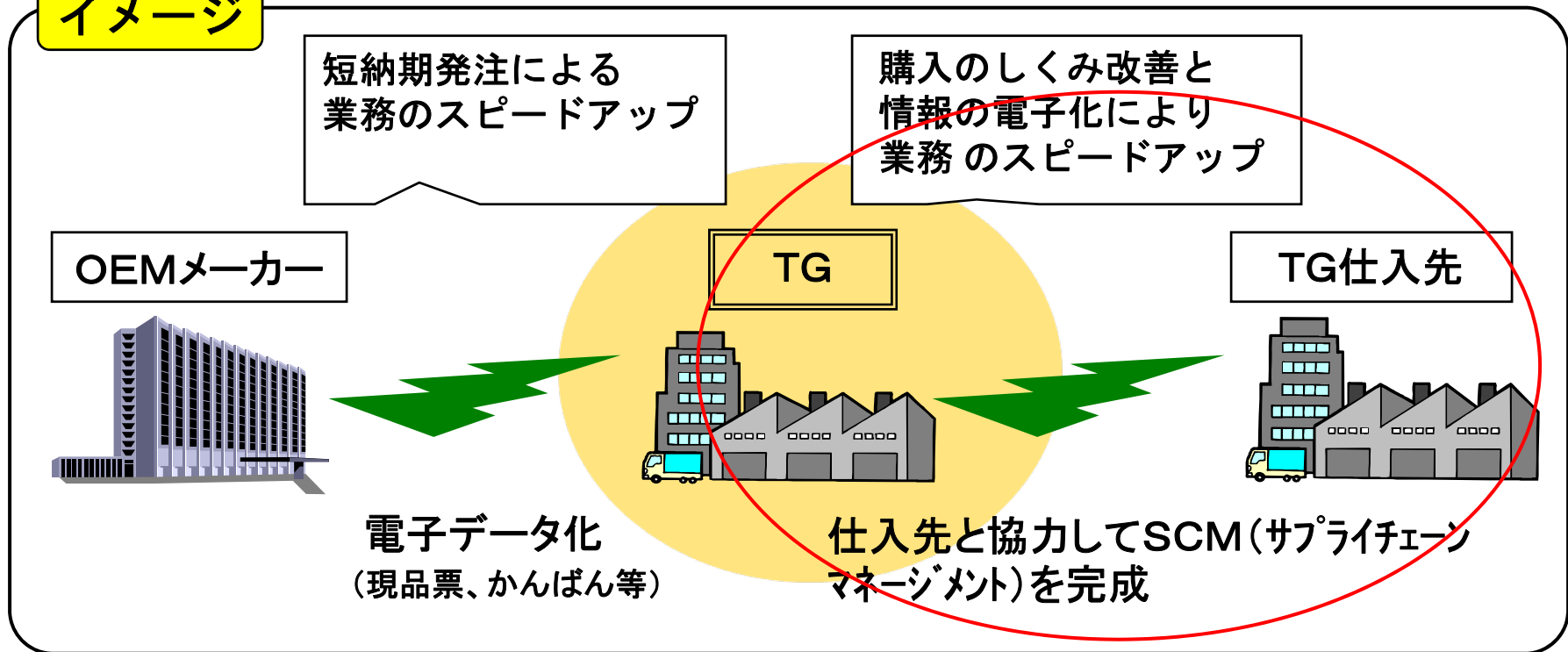
TG

TG仕入先



電子データ化  
 (現品票、かんばん等)

仕入先と協力してSCM(サプライチェーン  
 マネージメント)を完成



# TGと仕入先における現状と問題点



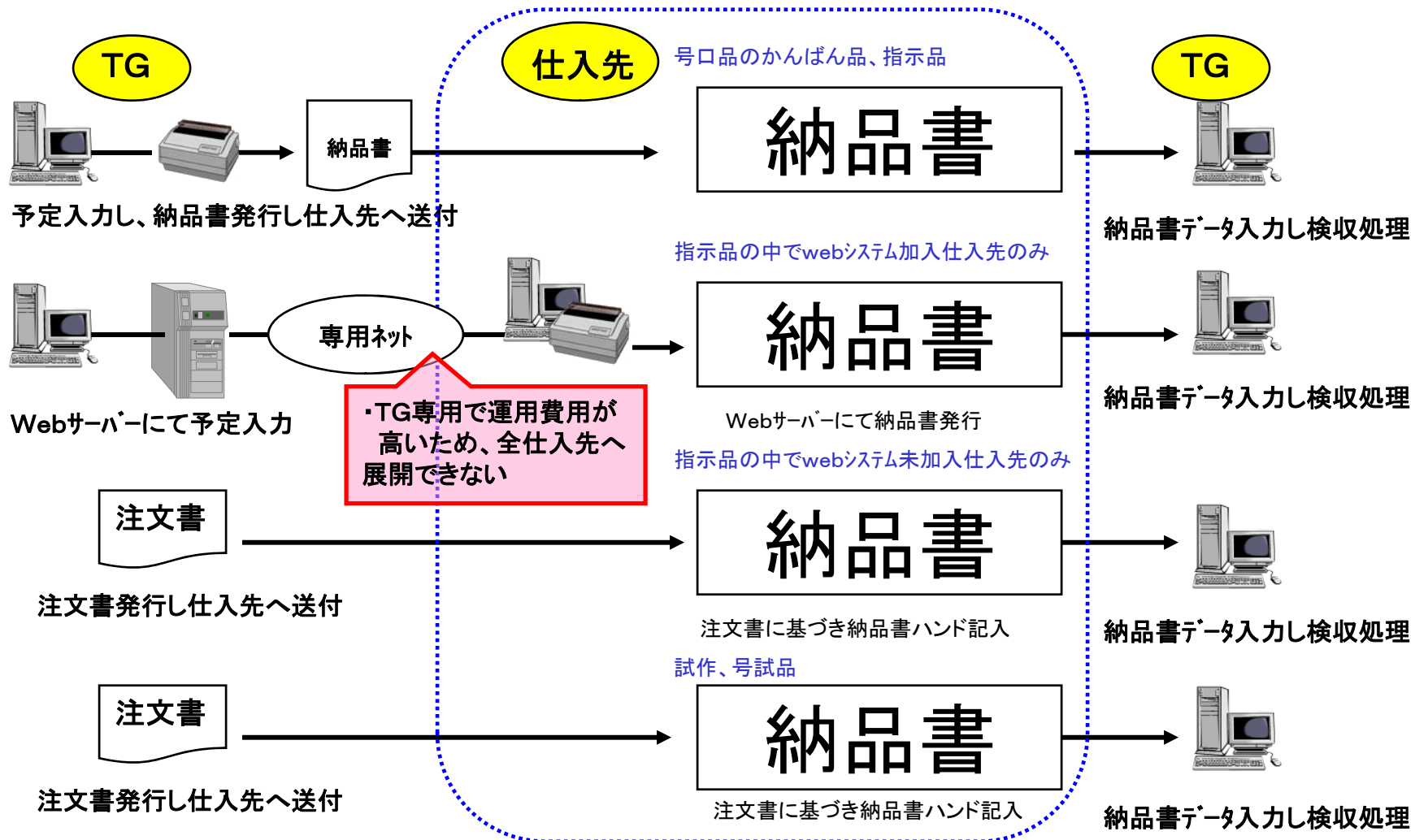
TOYODA GOSEI

・システムが個別で全体管理に工数がかかる

・納品書の送付が遅い  
ものがありリードタイムの短縮につながらない

・帳票が複数でTG、仕入先で管理がし難い  
・仕入先での運用、システム化も個別に対応が必要

・システムが個別で検収処理が異なるため運用が複雑





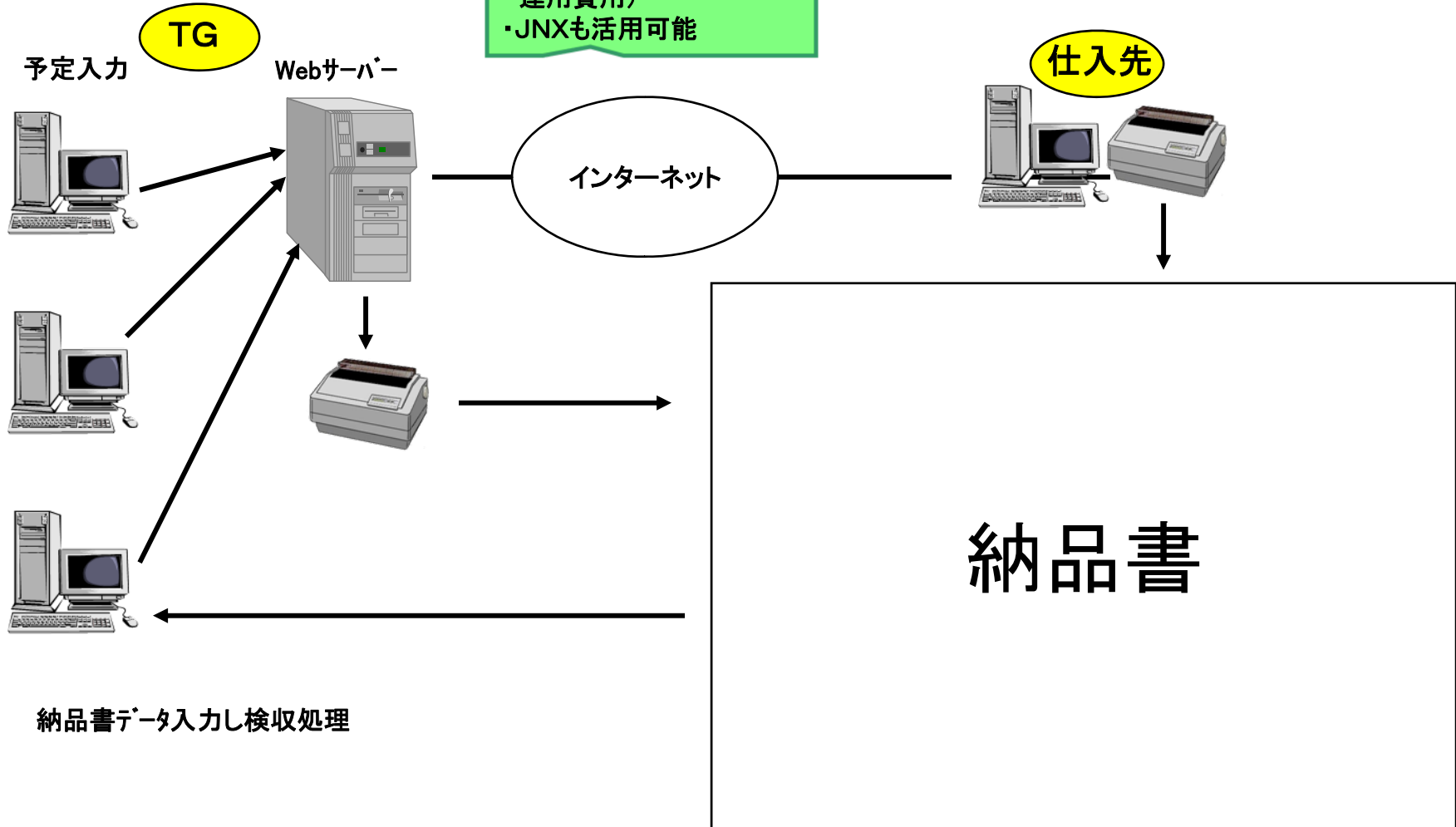
TOYODA GOSEI

# TGと仕入先における改善後の姿 (2008年度以降に展開)

- ・調達システムを統一し、予定・実績データを全て一括管理させる

- ・全仕入先が活用拡大可能なインフラ環境構築 (セキュリティ重視で仕入先にとって安価な運用費用)
- ・JNXも活用可能

- ・データ活用可能
- ・帳票はJAMA帳票に統一
- ・発行は、仕入先又はTG



# お問い合わせ

豊田合成株式会社 経営企画部 I T 企画室

カウ シュンイチ

加藤 俊一

TEL. 052-400-9071

FAX. 052-409-7336

e-mail: [tg20419@toyoda-gosei.co.jp](mailto:tg20419@toyoda-gosei.co.jp)



以上です  
ご清聴ありがとうございました。  
た。

